

# こあら女 Women's CHOICE

こあら女性編集室

「孫が3月生まれでね。小さくて。かわいそうだよ」。取材先で雑談中、年配男性の一言が引っ掛かった。わが家は夫婦そろって、おまけに長男(4)も3月生まれ。「かわいそうなんて心外」と思ったが、息子が成長するにつれ、クラスでひとときわ幼い姿を見ると、心配が募るのもまた事実。同じような不安を感じるお母さんたちは少なくないのでは。早生まれ(1月1日~4月1日生まれ)の子の成長について、先輩ママや専門家に助言を求めた。(伊豆田有希)

## 子ども全員が3月生まれ

鳥羽千里さん(静岡市、保育士)

保育士鳥羽千里さん(46)=静岡市駿河区=の長女春陽さん(22)と長男陽向君(19)、次男陽樹君(11)はいずれも3月生まれ。勤め先の保育園では園児同士を比べず、一人一人の育ちに応じた言葉掛けやサポートに徹する。園児の生まれ月を意識することはほとんど無かった。

「でも、自分が親の立場になったら一転。長女が幼稚園に入る時は、集団生活で他の



陽樹君(左)が所属するソフトボール少年団の練習に訪れた鳥羽千里さん(中央)と陽向君=静岡市駿河区

子と同じように行動できるのかと急に不安になった」と振り返る。

陽向君は入園後、園で疲れ果てるのか、帰りのバスの中で寝始めて朝まで起きない日が続いた。陽樹君は1歳から保育園へ。

親日に、クラスメートと並んで何とか靴を履く姿を見胸をなで下ろした。

クラスの中で見ると、生まれ月による差は幼い時ほど大きい。早生まれの子は周りについていこうと、できなかりに一生懸命」。園のマラソン大会で上位に入る。ちょっとしたことがとてもうれしかった。

「頑張る姿を見守るうち、3人とも大きくなった感じが。本人たちに生まれ月を気にする様子は全くなかった。1月生まれの鳥羽さん自身、「今思えば、子ども心(早生まれを)自然に受け入れ、深く考えたことはなかった。親の立場でいらぬ心配をしてしまったのかもしい」。

# 頑張り屋の早生まれ



園児と小学生が集う体操教室。年齢に関係なく、みんなで全力疾走する。磯谷仁准教授(中央)は多様な集団の中で子どもを育てる意義を強調する(浜松市北区)

## 多様な集団経験 将来の糧「悔しい」思いも大切

子ども向け体操教室などを運営する会社代表でもある磯谷仁准教授(乳幼児体育)は、「早生まれの子は集団の中で常に手本を見て学べる立場にあり、生まれ月が早い子ほど手本としてのプレッシャーがある」と説明する。

4月生まれの自営業青島美貴さん(48)=島田市=は、「クラスで手本を見せる存在として、先生や友達の期待を常に背負ってきた。応えられない自分がかかりしたり、できなかったらどうしようと挑戦をためらったりしたこともある」と振り返る。

2人姉妹の長女として「今でも何かと私が率先してやらなければ」と思いがち。一人息子(10)が4月生まれの契約社員花井さやかさん(44)=静岡市葵区=は、「集団の中で、頑張らないとできないという経験が、息子にはほとんどない。

## 隠れた才能 見逃さないで スポーツ活躍 誕生月で偏りも

「同学年の成長差の中で、せっかくの才能が隠れてしまい、周囲に気付かれないことがある」。中田大貴・奈良女子大准教授(スポーツ科学)は、早生まれの傾向を指摘する。

中田准教授の調査によると、サッカーや野球などのプロ選手は4~6月生まれが多く、早生まれが少ない。体格や体力の成長が早い遅生まれの子の方が目立ち、試合出場などのチャンスに恵まれやすいため、誕生月で偏りが生まれると考えられる。

中田准教授によると、「結果はあくまで、統計的な確率の話」。家庭環境やきょうだいの有無など、さまざまな要因が関わり、生ま

れ月がどこまで影響するかは未知数だ。しかし、早生まれの進学調査をした内山三郎・岩手大名誉教授(理科教育)は、成長差の要因の一つに生まれ月の影響を認識しなければ、「子ども本来の能力が開花するチャンスを見逃す恐れがある」と強調する。

中田准教授は2017年、奈良県内の小中学生3610人の体力テストと身体測定の結果を、4~9月生まれと10~3月生まれに分けて比較、分析した。体力で男子は中学3年まで、女子は小学4年まで差がみられ、体格は男女とも中学3年まで差があった。

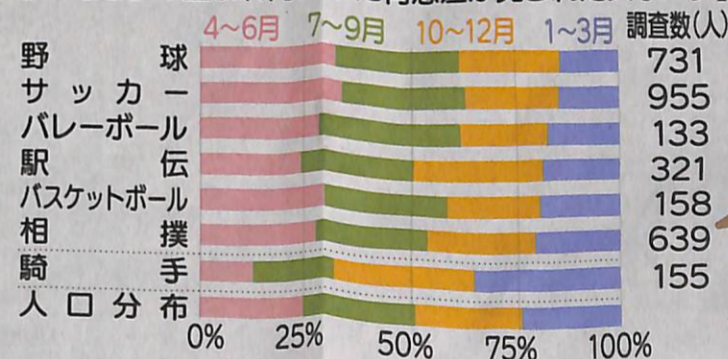
内山教授の調査では、大学入学時点まで生

まれ月の影響が表れた。1995、96の両年度、栃木県立の進学高2校と非進学高2校の入学男女1387人と、関東の私立大理系学部の入学生男子690人の生まれ月を3カ月ごとに分けて調べた。早生まれの割合が進学高では低く、非進学高では高かった。大学では、一般入試合格者に早生まれが少なく、推薦入学者

は早生まれが多い傾向がみられた。「一般的に体力は学習成績に反映される」と内山教授。体力が付いて初めて、長時間集中して人の話を聞けるようになるからだ。早生まれと遅生まれで体力や体格に差がある中、運動や学習の「できる、できない」を安易に評価してしまうと、「子ども自身が苦手意識を植え付けられ、進路の選択にまで影響する可能性がある」と危ぶむ。

### 中田大貴准教授の調査による、職業ごとの生まれ月分布

【国内選手の生まれ月分布に有意差が見られたスポーツ】



2010年に国内リーグのトップレベルでプレーした12スポーツの男性選手4318人を調査。ハンドボール、ラグビー、バドミントン、アメリカンフットボール、ゴルフでは有意差は見られなかった。

### 【作家は早生まれが多い傾向がある】



芥川賞が直木賞を受賞した日本人327人(男性251人、女性76人)を、誕生年に応じて4グループに分け、それぞれの生まれ月を調査した。1940年以降に生まれた小説家には特に早生まれが多い傾向がみられる。

年上におじって追い掛ける経験が必要と感じる」と話す。

早生まれの子の潜在能力を引き出そうという取り組みも。サッカーJリーグ1部の横浜マリノスは、主催する「U-10(10歳以下)大会の選手枠を変更。2012年からは小学4年生以下だけでなく、早生まれの小学5年生も出場できるようにした。

育成責任者の小池直文さん(48)は「同学年の中では普段引込み思案な子が、自己表現で

きる環境づくりたい」と狙いを説明する。出場をきっかけにリーダーシップが芽生え、その後飛躍した選手も少なくない。

磯谷准教授によると、友達に負けて悔しいという感情は4、5歳ぐらいから芽生え、悔しがるということは目標を持って頑張っていること。「親がかわいそうと捉えず、その気持ちを大切に育ててほしい。多様な集団で経験を積むことが大切で、そういう子は将来、必ず伸びる」